

【 7款 商工費 】

東日本大震災及び福島原子力発電所の事故といった大惨事に加え、欧州債務危機や歴史的水準で推移する円高、株安、燃油高などにより経済面でも低迷した年となった。

本市の商工関連産業に関しても人口減少や購買力の低下、事業主の高齢化と後継者不足などにより依然として厳しい経営状況が続いている。

企業誘致対策は、地域経済の活性化や人口流出に歯止めをかけるための重要な施策であるが、本市の地理的要因などにより厳しい状況にある。市としては、これまでの地道な企業訪問実績を基に、長崎県産業振興財団や県とも連携を図りながら、誘致活動を継続している。

物産振興においては、農林水産業と観光及び物産関連分野との連携による地場産品の地域ブランド化に取り組み、主に福岡都市圏をターゲットとした情報発信及び販路開拓などの事業を展開した。

イベントでは、昨年に引き続き「平戸くんち城下秋まつり」を実施し、食とイベントの融合と商店街の活性化を図る取り組みとして、2日間で県内外から2万人を誘客した。また、平戸を代表する特産品である「あご」のブランドを確立するため、「平戸“新あご”祭り」を開催し、1万5千人を誘客するとともに、“平戸のあご”をPRすることができた。

株式会社「ブランド総合研究所」が全国1,000の市区町村及び47都道府県を対象に実施した「地域ブランド調査」の結果が発表されている。これは、各自治体を持つ“観光”“産品”“居住”の3要素を「認知度」「魅力度」「情報」などの視点から全国の消費者約3万人が評価したものである。

本市は全国順位が昨年の220位から131位へ、長崎県内では昨年の5位から長崎市・佐世保市に次ぐ3位とそれぞれ評価が高くなっている。

これらは、各種イベントや地域資源のブランド化、歴史を活かしたまちづくりなど市民が主役となり、様々な取り組みを行っていることが評価されたものと考えられる。

観光面では、平成23年の平戸市全体の観光客数は165万1千人で、前年より約3万人(△1.8%)の減少となった。内訳として、日帰り観光客は130万9千人で、前年より約17千人(△1.3%)減少となり、宿泊客数は22万8千人で、約9千人(△3.5%)の減少となった。観光消費額は、94億2百万円で約2億2百万円(△2.1%)の減少となった。

大きな特徴としては、経済情勢悪化や円高の影響に加え、3月11日に発生した東日本大震災や福島原子力発電所事故の影響による旅行に対する自粛ムードが広がるなど、観光産業を取り巻く環境は厳しいものがあつた。

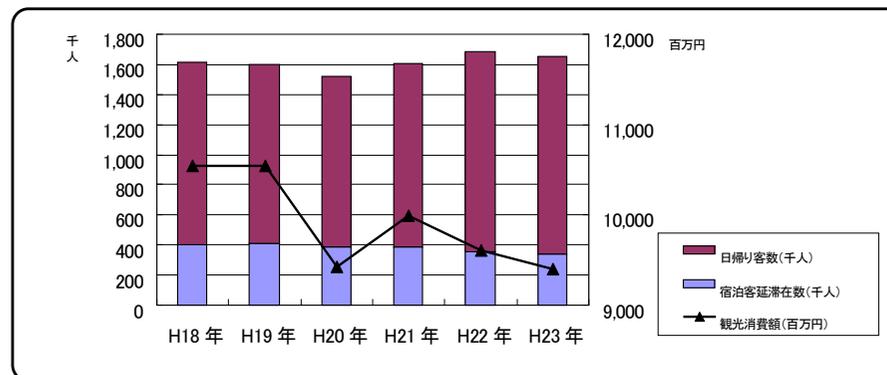
その中で、平戸観光の魅力である歴史、食、自然景観などを活かした様々なイベントを取りまとめた平戸藩めぐりシリーズとして新たに夏めぐりに取り組むとともに、福岡を中心に情報発信を行った。

また、西九州自動車道佐々インターの供用開始により平戸へのアクセス改善効果も追い風となり、平戸オランダ商館開館後は、宿泊客や主要観光施設の入館者の増加に繋がったが、震災の影響を補うまでには至らなかった。

平戸新八景の認定、たびら昆虫自然園や一六海水浴場の改修による観光地平戸の魅力アップ、平戸検定による観光ガイドの育成やまちかど観光案内所の設置による受入態勢の整備、市長のトップセールスや各種メディアによる情報発信を行い、観光客の誘客に努めた。

	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年
観光客数(千人)	1,614	1,602	1,522	1,608	1,681	1,651
宿泊客延滞在数(千人)	399	408	383	384	355	342
宿泊客数(千人)	268	272	255	256	237	228
日帰り客数(千人)	1,215	1,194	1,139	1,224	1,326	1,309
観光消費額(百万円)	10,539	10,543	9,429	9,993	9,604	9,402

観光客と観光消費額の推移



(1) 中小企業振興対策

商工会議所及び商工会が実施する事業への支援を通じて、中小企業の育成に取り組むとともに、平戸市中小企業振興資金融資制度を活用し、市内中小企業の経営に必要な資金調達の支援を行い、経営の安定化を図った。

また、緊急経済対策の一環として、住宅又は店舗のリフォームをする場合に、工事費に対する一部補助を行った。

(2) 商工業の振興と活性化

長崎県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業により「ひらどキャラクターまちなか賑わい事業」を実施し、観光協会、商工会議所及び商工会をはじめ地域の商店とも連携し、観光客の商店街誘客を図るなど商店街の賑わいの創出に取り組んだ。

また、“まちなか”における商業の振興、にぎわいあふれるまちづくりに向けて、平戸城下旧町地区の関係者による「まちなか活性化基本計画」を策定した。

中小企業者支援策としては、長崎県産業振興財団、商工会議所及び商工会と共催し、「経営戦略セミナー」を開催した。

(3) 企業誘致対策

本市の企業誘致対策は、交通アクセス、通信インフラなどの問題で企業が立地するために必要な条件が十分に整っているとは言えず、非常に厳しい状況にあるものの、継続的な営業訪問を行った。

また、これまでの製造業に限った誘致活動ばかりでなく、大規模太陽光発電事業の誘致にも取り組んだ。

(4) 物産の振興

平戸ブランドの確立による地場産業の活性化を目的として、平戸市地域資源ブランド化推進協議会を中心に進めている「平戸ブランド戦略的プロモーション推進事業」において、「福岡都市圏の35歳以上の女性」をメインターゲットとし、平戸産品の情報発信や販路拡大を図るため、ホテルや飲食店などでのフェアや物産展を開催するとともに、平戸市単独による商談会の開催や新商品の開発、ギフト商品の企画・販売などを行った。

【 7 款 商工費 】

(5) 外国人観光誘客の推進

平成 22 年に発足した平戸市・嬉野市・武雄市・雲仙市・福岡市の 5 市による「東アジア誘客 3 県都市連携会議」で、11 月に台北国際旅行博 ITP2011 に出展するとともに、台湾国内向けの旅行商品を新たに造成するなどの誘客施策を行った。このほか外国人観光客の受入態勢の改善を図るため、市内宿泊施設の外国語を加えた利用案内板やインターネット環境の整備等を支援した。

また、長崎県ふるさと雇用再生特別基金事業を活用して、東アジア誘客 3 県都市連携会議を円滑に進めるための事務局員を昨年に引き続き平戸観光協会に配置した。

(6) 観光施設の整備

(財)長崎県産炭地域振興財団産炭地域活性化基金を活用し、一六海水浴場の施設整備を行い、便所・シャワー更衣室を新設し、利便性の向上を図った。また、地域活性化・きめ細かな臨時交付金等を活用し、たびら昆虫自然園や中瀬草原等の観光施設の維持補修などを行った。

事業名	事業内容	事業費
中小企業振興対策事業 (商工物産課) 【事項別明細書236頁】	○商工金融対策 地域経済の安定と活性化を図るため、中小企業者に対する融資制度の利用促進及び負担軽減のための支援を実施した。 ①中小企業振興資金預託金 200,000千円 ②中小企業振興資金保証料差率補填補助金 131千円 ③中小企業緊急対策融資資金助成金 113千円 ④平戸商工会議所運営補助金 2,860千円 ⑤平戸市商工会運営補助金 8,595千円 ⑥街路灯組合補助金(生月地区) 358千円 ⑦その他の事業経費 593千円	212,650

(単位：千円)

財源内訳				事業の成果																															
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																
		200,000	12,650	県信用保証協会に対して信用保証料の一部を助成することにより、市内中小企業者が経営に必要な資金の融資を円滑に行うことができ、中小企業者の経営の安定化に寄与した。 ①中小企業振興資金預託金融資実績 (単位：千円) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">金融機関名</th> <th colspan="2">融資</th> <th colspan="2">償還</th> <th colspan="2">残高</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>親和銀行平戸支店</td> <td>2</td> <td>5,287</td> <td>21,356</td> <td>25</td> <td>25,501</td> </tr> <tr> <td>十八銀行平戸支店</td> <td>3</td> <td>4,139</td> <td>8,164</td> <td>12</td> <td>17,962</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5</td> <td>9,426</td> <td>29,520</td> <td>37</td> <td>43,463</td> </tr> </tbody> </table>		金融機関名	融資		償還		残高		件数	金額	金額	件数	金額	親和銀行平戸支店	2	5,287	21,356	25	25,501	十八銀行平戸支店	3	4,139	8,164	12	17,962	計	5	9,426	29,520	37	43,463
金融機関名	融資		償還		残高																														
	件数	金額	金額	件数	金額																														
親和銀行平戸支店	2	5,287	21,356	25	25,501																														
十八銀行平戸支店	3	4,139	8,164	12	17,962																														
計	5	9,426	29,520	37	43,463																														
				②中小企業振興資金保証料差率補填補助金 131千円																															
				③中小企業緊急対策融資資金助成金 113千円																															

事業名	事業内容	事業費
平戸ブランド戦略的プロモーション推進事業 (商工物産課) 【事項別明細書 236 頁】	本市の優れた“食”を中心とした地場産品の販路拡大を推進するため、「平戸市地域資源ブランド化推進協議会」が実施する福岡都市圏を中心とした地場産品のプロモーション事業に対する補助を行った。 ○事業費 20,000 千円 (一般財源 10,000 千円、県補助金 10,000 千円) ・ホームページ及びマスメディアを活用した情報発信 ・モニターツアー、プレスツアーの実施 (3 回) ・新商品開発・パッケージリニューアル (20 品) ・百貨店における物産展開催 (10 回) ・福岡市内ホテルでのフェアの開催、平戸メニュー開発 (平戸会席・平戸御膳) ・平戸産品商談会の開催 (1 回) ・福岡市内飲食店 (8 店舗) での同時フェア開催 ・夏ギフト、冬ギフト及び酒の肴セットの商品開発・販売 ・九州のムラ市場へのアンテナブース出展 (平成 23 年 4 月～平成 24 年 1 月)	10,000
「平戸あご」ブランド確立支援事業 (商工物産課) 【事項別明細書 236 頁】	平戸の重要な特産品である「あご」を市民に再認識してもらうとともに、市内外の消費者に向けて関係者が一体となって PR・販売するため、「平戸あご」のブランド確立に向けて「平戸“新あご”祭り」を開催した。 ○期日：平成 23 年 9 月 24 日 (土)・25 日 (日) ○場所：平戸港交流広場	3,500
平戸くんち城下秋まつり開催支援事業 (商工物産課) 【事項別明細書 236 頁】	平戸城下旧町地区商店街を舞台に「食」「物産」をメインとした“平戸ならではの”の“くんちスタイル”で、趣向を凝らしたおもてなしをコンセプトに、町歩き (散策) 型のイベントを開催した。 ○期日：平成 23 年 10 月 22 日 (土)・23 日 (日) ○場所：平戸城下旧町地区商店街	12,000

財 源 内 訳				事業の成果																		
国県支出金	地方債	その他	一般財源																			
			10,000	<p>福岡市内のホテルや人気有名飲食店8店舗における「平戸フェア」、平戸の生産者が直接向いて福岡市周辺の飲食店や流通業者を対象とした「商談会」を開催し、平戸産品の PR、販路拡大並びに市内業者の意識の高揚につながった。その他、料理人や飲食店関係者の視察を受入れ、福岡地区などとのネットワークづくりにつなげることができた。夏・冬のギフト、酒の肴セットの販売については、昨年よりも売上げ増となり、広く平戸産品を利用していただいた。さらに、各種イベントの開催に併せて、ホームページやテレビ、ラジオなどのメディアを活用した効果的な情報発信を行い、福岡県内を中心とした消費者に平戸産品を知っていただき、「平戸」の認知度アップにつながった。</p> <p>○主な売上げ実績 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州のムラ市場</td> <td>4,030</td> <td>2,537</td> </tr> <tr> <td>平戸会席・平戸御膳</td> <td>—</td> <td>1,511</td> </tr> <tr> <td>平戸フェア (福岡市内飲食店8店舗)</td> <td>—</td> <td>1,113</td> </tr> <tr> <td>ギフトセット販売</td> <td>3,740</td> <td>6,527</td> </tr> <tr> <td>百貨店催事</td> <td>4,235</td> <td>6,761</td> </tr> </tbody> </table> <p>・モニターツアー (11 月、12 月) 2 回実施 38 名参加 ・プレスツアー (3 月) 11 名参加 ・平戸産品商談会「平戸じげもんうまかもん市」(3 月) (市内 17 業者、福岡市内関係者 38 業者参加)</p>	内容	H22	H23	九州のムラ市場	4,030	2,537	平戸会席・平戸御膳	—	1,511	平戸フェア (福岡市内飲食店8店舗)	—	1,113	ギフトセット販売	3,740	6,527	百貨店催事	4,235	6,761
内容	H22	H23																				
九州のムラ市場	4,030	2,537																				
平戸会席・平戸御膳	—	1,511																				
平戸フェア (福岡市内飲食店8店舗)	—	1,113																				
ギフトセット販売	3,740	6,527																				
百貨店催事	4,235	6,761																				
			3,500	<p>「あご」にちなんだ“食”と“加工品”を一堂に集め、「あご」に特化したイベントとすることにより、平戸ブランドとしてのイメージアップを図ることができた。 また、平戸オランダ商館オープン、ツーデーウォークの日程と合わせたこともあり、集客力アップにつながった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>来場者数 (人)</th> <th>売上額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平戸“新あご”祭り</td> <td>15,000</td> <td>5,527</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	来場者数 (人)	売上額 (千円)	平戸“新あご”祭り	15,000	5,527												
名 称	来場者数 (人)	売上額 (千円)																				
平戸“新あご”祭り	15,000	5,527																				
	12,000			<p>市民や本市を訪れる観光客に対して、平戸の「食」「物産」を PR することができ、交流人口の拡大にもつながった。</p> <p>平戸くんち城下秋まつり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>来場者数 (人)</th> <th>売上額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>18,000</td> <td>7,568</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>20,000</td> <td>8,402</td> </tr> </tbody> </table> <p>※売上額については、チケット売上額</p>		来場者数 (人)	売上額 (千円)	H22	18,000	7,568	H23	20,000	8,402									
	来場者数 (人)	売上額 (千円)																				
H22	18,000	7,568																				
H23	20,000	8,402																				

事業名	事業内容	事業費								
物産振興イベント 開催支援事業 (商工物産課) 【事項別明細書 238 頁】	地域の物産振興や特産品の販路拡大につなげるため、生産者や関係団体が主体となり「平戸市産業まつり」として、「平戸海道渡海人祭」を実施した。 ・平戸市春の産業まつり「平戸海道渡海人祭」 2,000 千円 ○期日：平成 23 年 5 月 1 日～31 日 ○場所：平戸大橋公園、市内各漁協、平戸港交流広場ほか ○主なイベント 平戸海道渡海人祭、おさかな祭り（志々伎漁協）、アサリ！どっさり！潮干狩り大会（千里ヶ浜）、平戸農産物まつり	2,000								
「ふるさと平戸」 の地場産品流通ネットワーク構築事業 (商工物産課) 【事項別明細書 238 頁】	〈ふるさと雇用再生特別基金事業〉 福岡都市圏における地場産品の流通体制を構築し、ブランド化関連事業の推進を図るため、「平戸市地域資源ブランド化推進協議会」のスタッフを雇用した。また、直送システムのモデルとして車両を借り上げ、福岡都市圏（ホテル・飲食店など）の定期的な配送や各種物産展へ出展した。	22,812								
シーサイド販売促進事業 (商工物産課) 【事項別明細書 238 頁】	平成 24 年 2 月 25 日にオープンした「田平港シーサイドエリア活性化施設」について、福岡や県内のメディアなどを活用した事前告知やオープン後の情報発信を行った。 ○広告宣伝 テレビ、ラジオ、情報誌での告知、チラシ、リーフレット作成ほか	10,729								
ひらどキャラクターまちなか賑わい事業 (商工物産課) 【事項別明細書 238 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 市内のイベント会社に事業を委託し、本市の歴史にゆかりのあるキャラクターに扮したスタッフを、商店街や観光スポットで接客させることにより、観光客や市民を誘客し、賑わいの創出に取り組んだ。	21,850								
中小企業振興対策事業 (商工物産課) 【事項別明細書 240 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 緊急経済対策の一環として、市民が住宅又は店舗のリフォームを市内の業者に発注する場合に、工事費に対する一部補助を行った。 ○工事費総額等の実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>申請件数</th> <th>工事費総額</th> <th>補助対象工事費</th> <th>補助金総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>118 件</td> <td>205,631 千円</td> <td>195,930 千円</td> <td>9,660 千円</td> </tr> </tbody> </table>	申請件数	工事費総額	補助対象工事費	補助金総額	118 件	205,631 千円	195,930 千円	9,660 千円	9,660
申請件数	工事費総額	補助対象工事費	補助金総額							
118 件	205,631 千円	195,930 千円	9,660 千円							

財源内訳				事業の成果									
国県支出金	地方債	その他	一般財源										
			2,000	<p>農林・水産・商工業が連携してイベントを実施し、市民や観光客など消費者に直接販売することで、地場産品の PR につなげた。本年度は、東日本大震災の影響からイベント自粛モードもあり、来場者数及び売上額ともに減少となった。</p> <p>平戸市春の産業まつり「平戸海道渡海人祭」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>来場者数（人）</th> <th>売上額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>53,697</td> <td>13,761</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>44,128</td> <td>11,590</td> </tr> </tbody> </table>		来場者数（人）	売上額（千円）	H22	53,697	13,761	H23	44,128	11,590
	来場者数（人）	売上額（千円）											
H22	53,697	13,761											
H23	44,128	11,590											
22,812				<p>本事業の実施に当たり、協議会のスタッフを雇用することによって、事務局の機能が強化され、市内事業者に対する支援や福岡地区とのネットワークづくりの充実が図られた。</p> <p>また、新たなルート開発にあたり、福岡地区の飲食店などに対して、車両を活用した産品直送でのアプローチが容易になり、市内事業者の負担軽減と販路開拓につながった。</p> <p>新規雇用失業者 5 名</p>									
			10,729	<p>レストランを併設する農水産物直売所にて、地元の素材を活かした食の魅力を生み出すことで、新たな観光客の掘り起こしにつながった。施設のオープンに併せ、シーサイドウォークやラジオの公開生放送など情報発信することにより、広く施設を PR することができた。</p> <p>○オープン当日来場者数 6,200 人 ○オープン当日直売所レジ通過者数 1,960 人 ○オープン当日レストラン来客者数 321 人</p>									
21,850				<p>観光や商店街の魅力を宣伝することで、商店街への誘導を図り、賑わいの創出につなげるとともに、緊急雇用により雇用の創出につなげることができた。</p> <p>・平戸和蘭物語第 1 章（夏休み企画） 参加者：13,185 人 ・平戸和蘭物語第 2 章（冬休み企画） 参加者：7,619 人 ・新規雇用失業者 16 人</p>									
7,295			2,365	<p>市民の投資意欲を喚起し着工件数が増加することで、建築関係業者の新たな仕事が確保され、関連業界への一定の経済効果をもたらした。</p>									

事業名	事業内容	事業費																											
まちなか活性化基本計画策定事業 (商工物産課) 【事項別明細書240頁】	まちなか活性化基本計画とは、「長崎県まちなか活性化推進事業実施要綱」に基づき、「まちなか」における商業の振興、居住の推進、公共施設の整備等を総合的に実施し、暮らしやすく活力ある地域づくりを推進するために定める基本計画である。今後は、本基本計画に基づき、平戸城下旧町地区のにぎわいあふれるまちづくりに向け、平成24年度から平成26年度までの3ヵ年計画で、活性化の目標を設定し、これに向けた各種事業を実施していく。	345																											
企業誘致対策事業 (商工物産課) 【事項別明細書240頁】	企業誘致対策として、県(長崎県産業振興財団)と連携した企業への営業訪問や、地場企業支援のため市内企業への訪問を実施した。 また、大規模太陽光発電事業の誘致にも取り組んだ。 ・市外営業訪問 42社	1,092																											
にぎわいづくり支援事業 (観光課) 【事項別明細書240頁】	観光客の誘致と地域の経済効果を創出するため、コンベンションなどを開催する各種団体に対して支援を実施した。 ○にぎわいづくり実績 (単位：千円、延べ人数)	850																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>補助金額</th> <th>宿泊実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鄭成功生誕記念平戸サッカーフェスタ U-10 大会</td> <td>50</td> <td>173</td> </tr> <tr> <td>県立大村高校女子ソフトテニス部練習合宿</td> <td>25</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>日本学校農業クラブ全国大会長崎大会</td> <td>500</td> <td>504</td> </tr> <tr> <td>とびうお杯小学生新人バレーボール親善大会</td> <td>50</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>長崎県家の光大会・JA長崎県女性協リーダーフォーラム</td> <td>50</td> <td>177</td> </tr> <tr> <td>脇川ホテル平戸サッカーフェスタ U-10 大会</td> <td>25</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>Winter's Football Festival</td> <td>150</td> <td>306</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>850</td> <td>1,385</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	補助金額	宿泊実績	鄭成功生誕記念平戸サッカーフェスタ U-10 大会	50	173	県立大村高校女子ソフトテニス部練習合宿	25	51	日本学校農業クラブ全国大会長崎大会	500	504	とびうお杯小学生新人バレーボール親善大会	50	120	長崎県家の光大会・JA長崎県女性協リーダーフォーラム	50	177	脇川ホテル平戸サッカーフェスタ U-10 大会	25	54	Winter's Football Festival	150	306	計	850	1,385	
事業名	補助金額	宿泊実績																											
鄭成功生誕記念平戸サッカーフェスタ U-10 大会	50	173																											
県立大村高校女子ソフトテニス部練習合宿	25	51																											
日本学校農業クラブ全国大会長崎大会	500	504																											
とびうお杯小学生新人バレーボール親善大会	50	120																											
長崎県家の光大会・JA長崎県女性協リーダーフォーラム	50	177																											
脇川ホテル平戸サッカーフェスタ U-10 大会	25	54																											
Winter's Football Festival	150	306																											
計	850	1,385																											
市内周遊型定期観光バス運行事業 (観光課) 【事項別明細書240頁】	来平する観光客に本市の魅力を体感させることを目的に、市内の名所、観光施設等を巡る市内周遊型定期観光バスツアーを運行した。観光客の満足度アップを図った。 ※4月23日～7月31日は土日祝の運行。 ※8月1日～3月31日まで毎日運行。 (但し12月28日～1月3日は運休)。 委託先：(社) 平戸観光協会	6,327																											

財源内訳				事業の成果												
国県支出金	地方債	その他	一般財源													
			345	<p>基本計画を策定するため、中小企業診断士を座長として招き、平戸商工会議所、平戸観光協会及び商店街振興組合等と5回に渡り協議を重ねた。個別事業の実施段階において事業主体となる商店街振興組合等の関係者が、まちなか活性化に向けての協議を行うための有効な“場”となった。</p> <p>○策定会義開催回数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>開催日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>平成23年7月25日</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>平成23年8月26日</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>平成23年9月26日</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>平成23年11月4日</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>平成24年1月20日</td> </tr> </tbody> </table>	回数	開催日	第1回	平成23年7月25日	第2回	平成23年8月26日	第3回	平成23年9月26日	第4回	平成23年11月4日	第5回	平成24年1月20日
回数	開催日															
第1回	平成23年7月25日															
第2回	平成23年8月26日															
第3回	平成23年9月26日															
第4回	平成23年11月4日															
第5回	平成24年1月20日															
			1,092	<p>本市の立地条件を理解し、立地に関心を示す企業をターゲットに、営業訪問を実施した。しかしながら、歴史的に類を見ないほどの円高や長引く景気のデフレ傾向など経済情勢が見通し難い状況の中、立地には企業による多額の設備投資が必要となるため、製造業など人材雇用型企業の誘致には至っていない。ただし、平戸市への立地に関心を示す企業もあることから今後とも粘り強い交渉を続けたい。</p>												
250		600		<p>地域の賑わいにつながるコンベンションの開催に対して、この事業で支援することにより、地域の活力と魅力を向上させ、観光客の誘致につなげることができた。</p>												
3,045			3,282	<p>観光PRとあわせて、ボランティアガイドによる案内は好評で、平戸オランダ商館開館効果も相まって、利用者の増加につながった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入場者実績</th> <th>生月コース</th> <th>1,614人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>平戸コース</td> <td>2,036人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>3,650人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(幼児含む)</p>	入場者実績	生月コース	1,614人		平戸コース	2,036人	合計		3,650人			
入場者実績	生月コース	1,614人														
	平戸コース	2,036人														
合計		3,650人														

事業名	事業内容	事業費
観光セールス事業 (観光課) 【事項別明細書 240 頁】	観光地平戸のセールスを行うため、観光施設の無料入場券及び宿泊施設の温泉入浴割引券・宿泊割引券の入った名刺を管理職に対し、配布。市外者を対象に、名刺交換を通して、平戸の魅力をPRした。 対 象 市管理職員 36名 5,200 枚作成	161
たびら昆虫自然園 太陽光発電施設整備事業 (観光課) 【事項別明細書 240 頁】 【事項別明細書 242 頁】	施設のキーワードである自然との共生を目指し、太陽光発電システムの導入及びLED照明の整備を行った。 ・太陽光発電モジュール 140 枚 ・LED照明施設 72 箇所	32,157
鄭成功生家再現調査事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】	川内町の鄭成功居宅跡に、生家再現を行うための準備を進めた。 基本構想策定 遺跡発掘調査 測量費 一式、不動産鑑定料 一式 鄭成功生家再現設計デザインコンペ 応募総数 20 点 (16 名) 優秀賞 1 点 (平戸市在住) 優秀賞 1 点 (有田町在住) 審査員特別賞 1 点 (松浦市在住)	2,299
「平戸新八景」認定事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】	市民の視点から新たな観光地の開発と、観光客等を平戸の中心的観光地以外への誘客を図るため、平戸市行政区を対象に平戸の新たな観光スポットの情報を広く募集し「平戸新八景」を選定した。NPO ひらど遊学ネットに事業委託し実施。市民公募の結果、応募のあった 77 箇所のうち、20 箇所を八景候補地として選定し、平戸観光協会のホームページにて全国のどなたでも投票できる環境にて投票を実施した。	500
平戸港観光導線調査事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】	平戸オランダ商館等を訪れる観光客に対応するため、平戸文化センター駐車場と平戸棧橋間の最適な観光導線整備のための基礎資料を得るために調査を実施した。	840
観光ガイド育成事業 (観光課) 【事項別明細書 242 頁】 【事項別明細書 244 頁】	平戸学を活用しボランティアガイド数の増加並びにガイドのレベルアップ、観光客の受入体制を図るため、NPO 法人平戸観光ウェルカムガイドに委託し平戸検定を行うとともに、検定試験後にガイド志望者を募りガイド現地研修会を開催した。	667

財 源 内 訳				事業の成果																				
国県支出金	地方債	その他	一般財源																					
			161	市長をはじめとする管理職が市外での名刺交換を行うことで、平戸市の今の情報を伝え誘客に努めた。 実 績 配布枚数 3,500 枚 宿泊施設利用枚数 21 枚 観光施設利用枚数 139 枚																				
30,000			2,157	太陽光発電システムを導入し園内への電力供給を行うことで、買電量を削減した。また、窓部分や自動ドアのペアガラス化による空調運転時間の短縮、照明のLED照明への変更により消費電力を削減するとともに、環境にやさしい施設となった。																				
			2,299	鄭成功生家再現及び周辺地域の環境整備にあたり、基本構想を策定し、整備の方向性を定めた。 また、生家再現にあたっては、当時の文献等の歴史資料が少ないため、鄭成功生家のデザインを市内外から募集し、鄭成功生家再現のPRを行うと共に、再元する生家の基礎となるデザインを選出することができた。																				
			500	「平戸新八景事業」選定委員会にて「平戸新八景」を選定し、新たな平戸の魅力を発掘した。																				
			840	平戸港周辺に点在する観光スポットの周遊拠点となる平戸港交流広場と文化センター駐車場並びに市役所公用車駐車場の活用に係る現状把握、課題の整理ができた。																				
			342	平成 24 年 1 月 6 日から 2 月 8 日の間、10 回からなる検定講習会を実施し、2 月 12 日に平戸検定試験 (初級、中級、上級) を実施するとともにガイド現地研修会を開催し 2 名のガイドを育成した。 平戸検定結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>うち市外</th> <th>合格率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初級</td> <td>31 人</td> <td>28 人</td> <td>5 人</td> <td>90.3%</td> </tr> <tr> <td>中級</td> <td>36 人</td> <td>24 人</td> <td>3 人</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>上級</td> <td>28 人</td> <td>11 人</td> <td>0 人</td> <td>39.3%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	受験者数	合格者数	うち市外	合格率	初級	31 人	28 人	5 人	90.3%	中級	36 人	24 人	3 人	66.7%	上級	28 人	11 人	0 人	39.3%
区分	受験者数	合格者数	うち市外	合格率																				
初級	31 人	28 人	5 人	90.3%																				
中級	36 人	24 人	3 人	66.7%																				
上級	28 人	11 人	0 人	39.3%																				

事業名	事業内容	事業費
わがまち観光地づくり事業 (観光課) 【事項別明細書 244 頁】	官民一体となった観光のまちづくりを推進するために、市内外において観光客が多く立ち寄るコンビニエンスストア等の店内にて無償で観光案内所を設置し、観光情報等を提供した。 市内 23 箇所 市外 6 箇所	537
ほんもの体験型観光推進事業 (観光課) 【事項別明細書 244 頁】	〈ふるさと雇用再生特別基金事業〉 長崎県ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、一般社団法人まつうら党へ人的支援を行った。	1,758
交通量調査認識システム設置事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	本市への入込車両台数把握のため、平戸大橋付近に監視カメラを設置し、24 時間体制で通行台数、地域区分、車種を時間単位で計測を行うことができる機器を設置した。 ・交通量調査認識システム設置業務一式 ・データ集計・メンテナンス業務一式	4,433
マスメディアPR 事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	観光客誘客を図るために、旅行誌、情報誌などのマスメディアを活用して本市観光情報の掲載を行いPRを図った。 ふくまる 4 月号 220,000 部 じゃらん 8 月号 154,000 部 関西レク情報 50,000 部 九州レク情報 50,000 部 朝日新聞朝刊 780,000 部 朝日新聞号外 3,000 部	1,911
観光宣伝ツール作成事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	本市の観光情報を発信し、観光客誘客を推進するため、観光パンフレットの増刷を行った。 ・観光ガイドマップ 250,000 枚 ・「歴史とロマンの島平戸 大航海時代の城下町」120,000 部 ・平戸市観光ガイドブック「とっとこ平戸」30,000 部	4,398

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			537	観光客が個人や小グループ化し、いかかして個別にきめ細やかな対応ができるかが課題となる中で、市民の自発的なボランティアによる観光案内や観光地としての「おもてなし」の向上を図ることができた。
1,758				一般社団法人まつうら党において、県外の学校関係者、エージェント等に対し、企画造成及び営業等を行い、対前年度約 1,000 人の増加につながった。 新規雇用失業者 2 人
			4,433	交通量調査認識システムを設置し、24 時間体制で通行台数、ナンバープレートを認識しての地域区分、車種を時間単位で正確に把握することが可能となり、次年度以降の観光統計へ繁栄できるようになった。
			1,911	旅行雑誌のおでかけ情報や体験情報・教育旅行情報を掲載し観光誘客を図った。
			4,398	各種パンフレットを増刷し、観光情報の発信、観光客誘致に努めた。

事業名	事業内容	事業費
地域資源活用旅行商品造成事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	〈ふるさと雇用再生特別基金事業〉 長崎県ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、平戸観光協会において、2名の旅行エージェント経験者等を雇用し、本市の豊かな地域資源を活用した旅行商品の造成に取り組んだ。	8,983
平戸観光振興強化事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	従来の観光協会の実施事業について強化を図り、更なる観光客の増加を図るため、平戸観光協会が実施する「観光情報発信強化」「観光地形成・組織形成」「国内・海外旅行誘致強化」事業における経費への補助を行った。 ①観光情報発信強化事業 (マスメディアを活用した情報発信) ・雑誌・新聞等紙媒体を活用した情報発信 雑誌掲載 45 件 (JTB るるぶ、外戸本ほか) 新聞掲載 4 件 (西日本新聞、旅行新聞ほか) ②観光地形成・組織強化事業 ③国内・海外旅行誘致強化事業 ・熊本・長崎・大分県主催合同説明会 (8/8～8/9) 東京都 現地ランド会社 15 社と商談会実施。 ・JATA 旅博 (9/30～10/2) 東京都 パンフレット 4 千部を配布とアンケート調査の実施。 ・福岡コンベンションセールス (9/29) 福岡県 福岡市内企業及び大学等の学会事務局にセールス実施。 ・長崎県観光情報説明会 (6/8～6/12) 広島県 長崎県及び観光連盟主催の観光情報説明会に参加し、現地旅行会社に PR すると共に、アクティブライフイベントにてパンフレット 4 千部配布し本市観光 PR を行った。 ・首都圏観光プロモーション (7 月 20 日～22 日) 東京都 クルーズ船での観光情報説明会にて現地旅行会社 50 名に対し、本市観光 PR を行った。	15,000

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
8,983				着地型旅行商品の販売を促進するために、「新規商品開発・販売」、「既存商品販売」「情報発信」について事業を展開。新規商品開発・販売は、通年型の着地型旅行商品 (2 商品：実績 40 名) と季節型の商品 (4 商品：実績 363 名) に分けて開発を行った。また、既存商品の販売については、夏休み体験「平戸 DE やらんば」やその他の体験メニュー販売を中心に 1,010 名の販売実績があった。 新規雇用失業者 2 人
			15,000	①観光情報発信強化事業 テレビ、ラジオ、旅行誌等のマスメディアを活用し、年間を通じて平戸の旬の素材が食べられるようなグルメイベントの定着化を図り、誘客につなげた。 (食のイベント開催) 参加人数 (前年対比) ・平戸活イカまつり (7/1～8/31) 313 人 (50.5%) ・平戸和牛フェア (7/1～10/31) 11,411 人 (183.7%) ・平戸あら鍋まつり (10/21～12/30) 951 人 (57.4%) ・平戸ひらめまつり (1/14～4/8) 17,422 人 (171.3%) ②観光地形成・組織強化事業 公益法人制度改革に伴う(社)平戸観光協会の一般社団法人化移行にかかる人件費の補助を行うことにより、平成 25 年 4 月 1 日の法人化移行認可に向けた事務作業に着手することができた。 ③国内・海外旅行誘致強化事業 平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の影響により、国内外の観光客が減少する中、国内における旅行会社等に対し誘致セールスを行い、本市への誘客につながった。

事業名	事業内容	事業費
テーマパーク観光 プロモーション事業 (観光課) 【事項別明細書 246頁】 【事項別明細書 248頁】	平戸藩の四季シリーズとして、「平戸藩の夏めぐり」及び「平戸藩の秋めぐり」、「平戸藩の春めぐり」をパッケージ化し、季節感あるイベントを開催しながら、観光客誘客を図った。 「平戸藩の夏めぐり」 11 イベント 期 間：7月9日～8月17日 P R内容：ポスター350枚、チラシ20,000枚 テレビ66本(福岡34本、県内32本) ラジオ20本(福岡) 博多駅コンコース25面(1週間) 「平戸藩の秋めぐり」 9 イベント 期 間：9月17日～11月23日 P R内容：ポスター250枚、パンフレット20,000枚 テレビ80本(福岡34本、県内46本) N B Cラジオ体験会バス2台(長崎・佐世保) ラジオ66本(福岡26本、県内40本) 「平戸藩の春めぐり」 11 イベント 期 間：3月17日～5月27日 P R内容：ポスター250枚、チラシ30,000枚 平戸市福岡情報局 発信！平戸どん 放送期間：9月29日～3月29日 放送局：K B Cラジオ 放送時間：13：40～13：43(3分) FACE SASEBO 発行エリア：佐世保・県北地域 発行部数：30,000部 掲載回数：10カ月	11,011
観光トップセールス事業 (観光課) 【事項別明細書 248頁】	市長自ら、国内外において、観光宣伝をはじめとしたトップセールスを実施し、観光客の誘致活動を行った。 台湾親善訪問(4泊5日) 5市連携台湾PR(3泊4日) 修学旅行誘致(大阪・京都2泊3日) その他(福岡1回・大分1回・長崎1回)	512

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			11,011	各めぐりシリーズ毎に、メディアミックスによる平戸のイメージ戦略を行い、各イベントの集客を図った。 また、福岡を中心に、平戸市の情報番組を開設し、定期的な、観光情報を提供した。 「平戸藩の夏めぐり」 集客実績：40,479人 宿泊関係：27,075人(前年27,220人) 施設入場数：18,863人(前年16,693人) 「平戸藩の秋めぐり」 集客実績：53,224人 宿泊関係：46,759人(前年42,417人) 施設入場数：19,310人(前年16,118人) 「平戸藩の春めぐり」 集客実績：88,179人 宿泊関係：50,278人(前年38,142人) 施設入場数：64,744人(前年28,998人)
			512	外国人観光客の誘致を行うため、台湾においてPRを行うとともに、国内においては修学旅行誘致などトップセールスを行った。

事業名	事業内容	事業費
ハウステンボス周遊観光事業 (観光課) 【事項別明細書248頁】	ハウステンボスへ訪れる観光客を対象に、ハウステンボスだけに留まるだけでなく、周辺地域にも赴いてもらい、魅力を体感してもらうことにより、ハウステンボスと周辺地域における相乗効果をあげるため、ハウステンボスから本市におけるハウステンボス周遊観光バスツアーを運行した。 ※7月1日～3月31日まで毎日運行 委託先：ハウステンボス観光	7,721
外国人観光客誘致事業 (観光課) 【事項別明細書248頁】	外国人観光客の誘客を図るため、台湾(台北市・高雄市・台南市)を中心に、本市の歴史や文化等の観光資源を台湾のマスコミや旅行会社等を訪問し、震災後における九州が安全である旨の説明と観光PRを行った。また、教育旅行誘致を図るため、関係機関を訪問した。	1,116
東アジア誘客3県都市連携事業 (観光課) 【事項別明細書248頁】 【事項別明細書250頁】	平戸市・雲仙市・嬉野市・武雄市・福岡市の行政・観光協会等で組織する「東アジア誘客3県都市連携会議」にて、台湾及び東アジアからの観光客誘客を図るための事業を展開した。 台北国際旅行博 ITF2011 開催期間 11月11日～14日	1,500
東アジア観光誘客推進事業 (観光課) 【事項別明細書250頁】	〈ふるさと雇用再生特別基金事業〉 長崎県ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、平戸観光協会に委託を行ない、平戸市・雲仙市・嬉野市・武雄市・福岡市で組織する「東アジア誘客3県都市連携会議」の事業を行うための、職員を雇用した。	7,572
外国人観光客受入施設グレードアップ推進事業 (観光課) 【事項別明細書250頁】	平戸市における外国人観光客の受入強化の取り組みを推進するとともに、平戸市への外国人観光客増加を図ることを目的とし、平戸市内宿泊施設の実環境整備を実施した。	7,924

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,454			5,267	ハウステンボス会員等への周知を図り、徐々に利用者獲得に努めたが、思うように利用者数が伸びなかった。 運行日数 230日(運行予定日数:275日) 乗車人数 1,203人 平均乗車人数 3.7人(乗車人数/運行回数)
			1,116	台湾公式訪問の際に、マスコミ1社、旅行会社2社を訪問し、東日本大震災後の九州が安全である旨の説明を行い、本市の観光PRを行うと共に、台南市では、中華航空及び旅行会社、マスコミなど約20社を集め、記者発表を行った。また、台湾教育部国際文教処を訪問し、教育旅行誘致を図った。
			1,500	本市への観光客誘客を図るため、台湾から旅行会社及びマスコミを招聘しての招聘ツアーを実施し、結果、旅行商品1本(平戸漁師体験ツアー)の造成につながると共に、台北国際旅行博 ITF2011に参加し、観光プロモーションを実施。台湾国内における本市の情報発信を行った。 ・招聘ツアー(6月9日～14日、7月30日～8月4日) 招聘者数：旅行会社 16社、マスコミ 1社 ・台北国際旅行博 ITF2011 来場者数 251,231人
7,572				昨年採用した中国・台湾語等の語学が堪能で、旅行業のノウハウを持つ者を継続雇用し、「東アジア誘客3県都市連携会議」における他市との調整や旅行会社等の連携業務に携わり、東アジアからの誘客に向けた旅行商品を造成した。 新規雇用失業者数 1人
3,962			3,962	平戸市内の7宿泊施設からなる平戸市外国人観光客受入施設整備推進協議会を組織し、宿泊施設の外国語を加えた利用案内やインターネット環境の整備等を支援し、宿泊施設における受入態勢の改善を図った。

事業名	事業内容	事業費
夏のイベント開催支援事業 (観光課) 【事項別明細書 250 頁】	夏の風物詩として長年市民に親しまれている花火大会及び関係イベントの開催を行い、市民が楽しめるイベントの実施と観光客の誘致を図った。 平戸港夏まつり事業 2,300 千円 平戸海響ナイトクルーズ事業 1,000 千円	3,300
一六海水浴場施設整備事業 (観光課) 【事項別明細書 256 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 一六海水浴場施設を夏場の利用者以外に体験型修学旅行生の受け入れを推進するために施設のリニューアルを図り、観光客等の集客を図った。	42,381
観光施設整備事業 (観光課) 【事項別明細書 256 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 地域活性化・きめ細かな交付金を活用し、本市の観光施設の整備改修を行い、施設の充実を図った。 ・たびら昆虫自然園外壁改修工事 ・中瀬草原旧管理棟解体工事 ・潮見グランドベンチ設置工事 ・中瀬草原施設整備工事 ・イベントステージ購入 ほか	20,065

財源内訳				事業の成果						
国県支出金	地方債	その他	一般財源							
			3,300	地域が主体的になって開催することにより、地域の振興が図れた。また、イベントを通じ地域の魅力を発信することができ、観光客誘客につなげることができた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平戸港夏まつり</td> <td>17,000 人</td> </tr> <tr> <td>平戸海響ナイトクルーズ</td> <td>386 人</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	参加人数	平戸港夏まつり	17,000 人	平戸海響ナイトクルーズ	386 人
事業名	参加人数									
平戸港夏まつり	17,000 人									
平戸海響ナイトクルーズ	386 人									
		31,600	10,781	一六海水浴場の施設整備を行い、便所・シャワー更衣室を新設したことで、海水浴場の利便性の向上が図られた。そのため、海水浴開設中はもちろんのこと、海水浴期間以外においても地引網などの体験観光による活用の機会の増加が期待される。						
20,047			18	老朽化している市内観光施設の改修により利用者の安全・利便性の向上が図られ、観光客等に対し満足できるサービスの提供に寄与することができた。						